

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2012年9月1日

108号



情熱と秘められた思い

ブーゲンビリアの花は、熱帯地方には世界中で咲いているのを見かけます。私が初めてこの花を「綺麗な花だなあ」と意識して見たのは、1976年の秋でした。

インドのホテルの屋上の庭に見事に咲いていて、感銘したのを思い出します。以来、マレーシアやインドネシア、サウジアラビア、トルコでも見たし、南米に来て、ブラジルでもパラグアイでも出会いました。そして今レダでは、公館や国際セミナーハウス、大食堂などの周りには、沢山咲いていて、来園される方々の目を楽しませてくれます。

勿論野生で咲いているのではなく、庭木として花壇に採用しているのですが、色はピンク系が多く、それぞれの木の花によって少しずつ色合いが違いうほど個性的です。年に数回見事に咲きます。少し剪定に手を抜くと、ツルが藪のように絡み合い、そこに蜂が大きな巣を作ります。昨年発見したのは、公館花壇で直径30cm、長さ40cmほどの巣で、びっしりとミツバチが群がっていました。(飯野記)

参考:グレート・バリア・リーフを発見したブーゲンヴィルの名前が語源のお花。色のついた所は苞と呼ばれる葉で、花は真ん中の白い部分です。

【08月09日の誕生花】ブーゲンビリア【花言葉】『秘められた思い』【詳細】オシロイバナ科 原産地:南アメリカ

夜間は丈夫な金網が豚を保護



一方、孵化場に必要の浄化槽の準備もはじまって、工具室の横に穴が掘られて、こちらも整備が進んでいます。
長い間雨が降らず、強い熱風が吹き暑くなり、埃が大変です。青年ボランティアを迎える準備体制も終盤に入り、細かいスケジュールが作られています。
マリア・アウシリアドーラ村で使うニームの苗木も苗を掘つたりの準備がされています。

レダの活動

豚舎の周りを金網で覆ってチグレなどの森の動物の進入を防ぎます。なかあった場合には豚の避難所としても使える広さが確保されています。
新豚舎は、ほぼ完成しています。豚の実数も五百頭を超えたところで、タイミングが間に合いそうです。

500頭を超えて第二豚舎の整備完了



ティグレ(ジャガー)対策も万全に



三箇所の育苗所で苗木を増産

植林を目指して、育苗所を拡充しました。開拓当初から拡大してきたレダの育苗所に、パラグアイ第二の都市シウダ・デル・エステ市とアスンシオンの近くのニエンブ市に、年間5万本以上の苗木生産を目指しています。

アスンシオン育苗所と所長の家族



最も歴史のあるレダ育苗所



エステ市の育苗所



今回ミンガガス市に3万本の苗を提供

第12回国際協力青年奉仕隊出発

(2012年8月25日～9月11日)

ミンガグアス市プロジェクト

過去十一回の青年奉仕隊を通し、学校が建設され、植樹をし、インディヒナの村に希望の光が射し、子供達にも未来への夢が出てきたように感じます。

今回訪問するミンガグアス市は、左の写真にあるように1958年以前は鬱蒼とした森でした。町を作るために多くの木と森が消えていきました。2010年に行ったボランティア隊によって、五十の学校に百本ずつ合計で五千本を植樹してきました。青年隊が行くことにより、市の緑化に弾みが付き、今回の新たなプロジェクトとなりました。

今回は、都市緑化プロジェクトの推進であり、十ある公園施設の建設にすべて植樹するには五万本以上の苗木が必要となります。今回は、三万本の苗木を準備して植樹をします。市の環境課と教育省と私たちが連携して植樹による、街づくりを推進していきます。すでに、メインとなる公園用地に当会から贈られた苗木によって、植樹が始まっています。(既報)



2010年の活動時に市長と植樹



木を伐採して町が作られました

マリア・アウシリアドーラ村プロジェクト

2008年8月、第8回青年ボランティア隊が、ローマプラタから陸路バスでレダに来る45km手前で、マリア村に寄り、この開拓村の学校に時計とサッカーボールを、そして各子供たちには文具類を提供し、ひと時の交流をし、喜ばれました。

開拓数年の村のため、学校も狭い掘立小屋しかなく、その時も我々に学校を建ててくれないかと期待されていました。2年前にアルトパラグアイ州で学校を建ててくれたと喜んでいたので、私達もホッとしていたのですが、手抜きをしたのでしょうか、突風で屋根が飛ばされ、授業が出来なくなり、困り果てていた時、今回の出会いとなり、支援を約束することとなりました。

すでに屋根の修復工事は始められています。さらに今回の青年奉仕隊は学校と村の周りに植樹のプロジェクトを準備しています。

飯野記



校長先生から実状を聞く



屋根が無く使えない教室には草が生えて



2008年に学校と生徒に文具等を寄贈



第十七回ピースライフセミナー

八月十一日から十二日の二日間、御殿場のセミナーホールで、行われました。残念ながら富士山は雲に隠れて頭の一部しか見えませんでした。十分に講義を聞いて、南米レダへの関心を持つてもらえたことが幸いでした。

感想文・柴沼講師のお話を通して、宇宙や自然環境の重要性にも深く触れることができた感謝でした。偉大な先人たちの歩みを通して多くを悟らせてくださったことにあらためて深く感謝します。

高津先生の講話で、地球環境問題の解決は、植樹活動の実践からということを学びました。飯野先生から、皆様が南米のレダでご苦労されて困難を克服して実践している姿に驚きと感動と熱い情熱を感じ、自分の日々の歩みを反省させられました。ありがとうございます。

(主婦四五歳)

今朝は、高津先生案内のもと、裏山散策に行きました。森の木々は土を含めて全て循環しているのだと知りました。私たちの生活で、木からの製品を消費してばかりいて、木を植えることの大切さを見失っていました。(女性二五歳)



古い神社の境内で植樹活動の説明を聞く



南北米福地開発協会

会員募集中

地球家族として
自然を守りましょう

南米、パラグアイ、パンタナール地域へのエコツアーならびに植林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。

会費は月五〇〇円、毎月、パンタナール通信を送ります。また、各種のセミナー、エコツアー等の案内をいたします。

南北米福地開発協会 事務局

〒二一三〇〇〇一

神奈川県川崎市高津区

溝口三十一番十五

電話

〇四四一八二九一二八二二

Fax

八二九一二八二〇

会費納入

郵便口座

一〇一八〇一七七六八〇四七一

Eメール

office@asd-nsa.jp

ホームページ

http://www.asd-nsa.jp